



# AKAYA PROJECT MINAKAMI

## 赤谷プロジェクト

国有林における幅広い関係者の協働による

生物多様性復元に向けた取り組み

*What is Akaya project?*

「赤谷プロジェクト」は、群馬県みなかみ町北部、新潟県との県境に広がる、約1万ヘクタール(10km四方)の国有林「赤谷の森」を対象に、地域住民で組織する「赤谷プロジェクト地域協議会」、(公財)日本自然保護協会、林野庁関東森林管理局の3つの中核団体が協働して、生物多様性の復元と持続的な地域づくりを進める取り組みです。



Akaya no mori

# 赤谷の森

## エリア説明図



### 1 赤谷源流エリア

巨木の自然林の復元とイヌワシの営巣環境保全

### 2 小出俣エリア

植生管理と環境教育のための研究や教材開発と実践

### 3 法師沢・ムタコ沢エリア

水源の森の機能回復

### 4 旧三国街道エリア

旧街道を理想的な自然観察路とするための森づくりと溪流環境の復元

### 5 仏岩エリア

炭焼き・道具作りなどの森林利用の研究と技術の継承

### 6 合瀬谷エリア

実験的な、新時代の人工林管理の研究と実践

## 赤谷プロジェクトの目指すもの

### 生物多様性の復元

この地域の地形や地質、気象に応じた多様な森林生態系の保全・復元を科学的根拠に基づいて進めます。



### 持続的な地域づくり

自然環境の保全・復元の取り組みは地域社会との関係の上に成り立っています。現在ある自然をよりよく保全しながら、損なわないように活用していく持続的な地域づくりを進めていきます。



## 赤谷の森を舞台にした 新たな森林管理

「赤谷の森」は自然環境が変化に富み、奥山にはブナ、ミズナラ等の自然林、里山には人工林とかつて薪炭林だったコナラ林が広がります。希少種であるとともに生態系のアンブレラ種であるイヌワシ、クマタカ、ツキノワグマなどの生息地にもなっています。歴史ある温泉も点在し、かつて交通の要路であった旧三国街道が通じており、古くから人々と深く関わってきました。赤谷プロジェクトでは、このような特徴ある国有林を舞台にして、多くの関係者が様々な視点から「あるべき姿」の復元に向けて取り組んでいます。



## 赤谷プロジェクトの取り組み



### 多様な森林をめざして

人工林を自然林に復元することなどを通して、様々な動植物が生息・生育できる生物多様性の高い森林を目指します。

単調な人工林を間伐し自然の力による広葉樹の進入を促して、本来の多様な樹種からなる森林に誘導するよう取り組んでいます。



### 動物たちの暮らす森

多様な動物が健全な状態で生息する森林を保全する取り組みを進めます。

センサーカメラによる哺乳類の生息状況調査や、近年増加傾向にあるニホンジカによる生態系攪乱を防ぐ適正な個体数維持のための低密度管理を行っています。



### 大型の猛禽類の舞う空と森

「赤谷の森」にはイヌワシ1つがいとクマタカ4つがいが生息しています。イヌワシ・クマタカは森林における生態ピラミッドの頂点に位置することから、これらの猛禽類の暮らしから森の多様性を評価し、森林の管理に反映していきます。



### 豊かな溪流環境の復元

赤谷エリアに流れる河川には、イwanaやヤマメなど河川上流域を好む様々な川魚が生息しています。川魚が遡上できる環境を創出するために、治山ダムの中央部分を撤去して、環境に与える影響についてのモニタリング調査を行いました。



### 環境教育の推進

地域を担っていく子供達や指導者を育成していきます。地元ガイドと連携して、地域内外の方に赤谷の森の魅力について知ってもらうきっかけを提供していくと同時に、地元や都内の学校に向けて新たなプログラムの開発や実践を行っています。



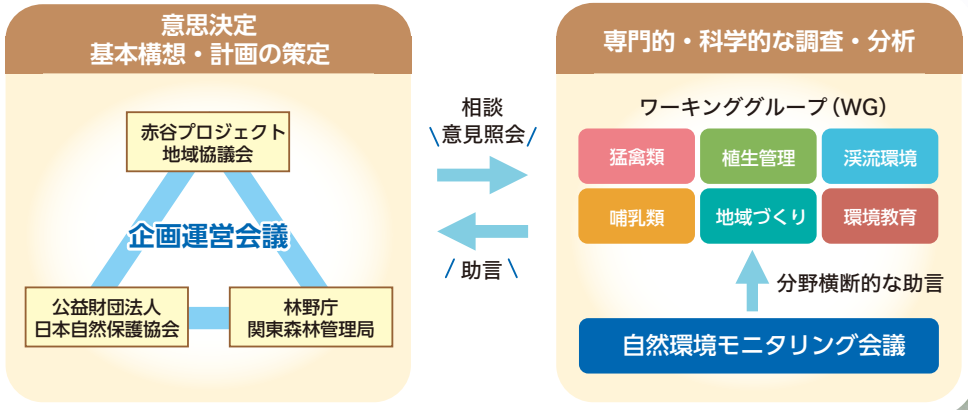
### 持続的な地域づくり

赤谷の森と地域の人や産業との関係づくりを行っています。これまでに、広葉樹を活用したカスタネットづくりや、遊休農地を活用した桐の植栽、イヌワシの保全につなげる木材の地域産業への利活用などに取り組んでいます。



# 赤谷プロジェクトの仕組み

2021年4月にプロジェクト推進に関する3回目の協定が締結されました。この協定に基づき、全ての赤谷プロジェクトの取り組みは、「赤谷プロジェクト地域協議会」、(公財)日本自然保護協会、林野庁関東森林管理局の3者で決定します。これらの関係者が、それぞれの知識や立場を活用しつつ相互に協力して、調査研究活動、森林の保全管理や環境教育を総合的に進めています。



## 他の機関と連携した取り組み

### みなかみ町

赤谷の森が位置するみなかみ町は、2017年にみなかみユネスコエコパークに登録され、2024年にはネイチャーポジティブ宣言をしました。環境教育や自然環境の調査活動など、多様な取組を連携して推進しています。



### 環境省

上信越高原国立公園を管轄する環境省と、シカの食害などの影響で減少傾向にある三国山のニッコウキスゲの保全に取り組んでいます。



### information

赤谷プロジェクト地域協議会  
☎ 0278-25-8777



(公財)日本自然保護協会  
☎ 03-3553-4101



林野庁関東森林管理局  
赤谷森林ふれあい推進センター  
☎ 0278-60-1272



赤谷プロジェクトに  
詳しい情報満載!

## 赤谷プロジェクト サポーター募集!



赤谷プロジェクトは、一緒に活動に加わっていただけるサポーターを募集しています。

■お問合せ先  
(公財)日本自然保護協会  
✉ akaya@nacsj.or.jp

